







# ニッケイ俳壇

(825)

富重久子 選  
一月下

◎まつても句心ありぬ去年今年  
直に生きて幸せ初日影  
羊の絵焼き出して松の内  
ふくよかにあやかり賜ふ初日影  
◎年末から年始にかけて、何とか仕事を済  
ませばつとしたものの暑さには参ってしま  
う。それでも、何かにつけて句心が頭をも  
たげノートに走り書きする。長い間に培つ  
た句心は少々のことでは純くはないで  
健在でいくれる。とそんな独り言が「去  
年今年」と言う切羽詰った季語に旨く溶け  
合つてユニークな佳句となつた。

◎日記買ふ未知なる余生綴るべく  
○余生なほ神に委ねて去年今年  
重ね来し歳しみじみ屠蘇祝ふ  
向日葵や頃いいっぱいに孫笑ふ  
一望の畑の向日葵に向く

◎日記買ふ年暮れ書肆の店頭に色とりど  
りの新年度のものが並んでるので、「日  
記買ふ」は年末の季語で、日本では冬、ブ  
ラジルでは夏の季語となつていて。毎年几帳面に日記をつける作者であろう。半寿を過ぎてなお鍛錬として蜂鳥誌の編集長として頑張つて頂いているが、「未  
知なる余生綴るべく」というこの作者ならではの言葉に、心打られるものがあった。

◎一句目の「神に委ねて」という懲り自適のわが道を行く姿に、燐し銀のように光りお手本の様な秀句に、心から敬意を表したい巻頭俳句である。

◎毎年前頭葉も暑き負け  
サンバウロ 近藤政仁子  
鷗面へお別れのキス松の内  
喜べば孫も喜ぶ福笑ひ  
○最近の暑さはどうであろう。  
◎この句の「前頭葉も暑き負け」とは思  
切つた言葉の表現。前頭葉は、意志・思  
考・創造など高层次精神機能と関連し、個性

◎意味悪く壁の守宮に寝付かれず  
鉢並べ狹ばまる庭に初簾  
恒例の和食が嬉し初句会  
病みしこと楽しみしこと古日記  
◎夏になると何となく水玉模様の服やス  
カートを着用するが、特に涼しそうに感じ  
られるからである。今年は水玉模様が流  
行りだと聞くと、誰も彼も水玉を選んだり  
する。この句は咲嗟に「天道虫」の季語を持つ  
て来て一句を作つた。水玉と「天道虫」の  
付き過ぎが気にかかるが、優しい句で頂いた。

◎うちにも守宮がいる。時々カーテンから  
道の辺に山と積まれて西瓜売り  
ポンポンとちょつと叩いて西瓜買ふ  
虹立ちて続くビル街果てしなく  
◎うちにも守宮がいる。時々カーテンから

◎ガスランプ灯して夕餉夏風  
炎天下農夫の昼陰もなし  
年の暮ゲルテンなしのビツサ店  
年用意少し手抜きを厨事  
◎最近は天候不順で、時々俄かに雷が鳴る  
と稻光がして嵐になり、思わず被害が出  
る。アパートで電気が切れると蠟燭を灯して  
嵐の吹きやむの待つが、この句の様に方  
スランプがあると結構明るい。季語の「夏  
嵐」がよい選択で、ランプの下で楽しい夕  
餉の様子が想像される佳句であつた。

◎ガババ  
飯田 正子  
山本英峯子





# ふくはくそんかいそうりつしゅうねんいわ 福博村委会創立80周年祝う

## 記念碑建て後世に遺志刻む

「ここに幸せな村あり、ありき」

### 創立者会員家族に記念品

スザノ市福博村委会(高木政輔会長)は25日午前11時半、「福博村委会創立80周年記念祭」を同村委会館で行い、村委会関係者、創立会員家族ら約120人が集まつた。先没者黙祷、両国歌斉唱の後、記念碑の除幕式が行われた。「福博」と刻まれた石碑がお披露目されると、参加者は拍手で盛大に祝福した。



除幕式の様子

### 金沢市の魅力をボーグで

JICA研修員と  
研修員佐藤さんがサイト開設

JICA日系研修員として昨年10月から3ヶ月間、石川県金沢市を訪れた佐藤フランシスコ(58歳、三世)が、ボーグで金沢を紹介するサイト(www.kanazawa.net.br)を開設した。同市の魅力をボーグで伝えて、北國新聞でも取り上げられたり、日本文化の伝承を語っている。同市の魅力をボーグで伝えようとしている。

機構留学生センターに通った。

JICA研修中は金沢大学国際

を経験している。

張り切っている。

ブラジル漫画協会

を本部に伝えていた。

熱心だ。

研究中は金沢大学国際

を経験した。

北國新聞でも取り上げられた。

感想を語った。

感想を

